

【回答書①】

議題1 新計画における事業概要について

※参照 03 かがやきプランⅢ素案 Ver.2(R3.1.27)

頁	通し番号	指標名 施策・事業	意見等内容	担当課	回答
1	10		「性別総人口の推移」のグラフ 数値の説明が消えている	企画課 NITTOKEN	「性別3区分別人口構成比の推移」グラフを移動し、隠れている「性別総人口の推移」のグラフの凡例を表します。
2	18		ジェンダー・ギャップ指数の説明に「0が完全不平等、1が完全平等」との説明を入れてはどうか。	企画課 NITTOKEN	ジェンダー・ギャップ指数「0が完全不平等、1が完全平等」との説明を入れます。（※1のジェンダー・ギャップ指数の説明文に挿入）
3	18		ジェンダー・ギャップ指数2020の図の破線は何を意味するか。各分野の順位を示す箇所に「位」を入れてはどうか。	企画課 NITTOKEN	ジェンダー・ギャップ指数2020の図の破線は経済分野、教育分野、政治分野、保健分野それぞれの平均値を示しています。
4	36	6 地域で活躍するリーダーの養成	男女共同参画を推進する若い世代のリーダー養成を目指して「地域で男女共同参画について発信していく、幅広い年代の人材の養成を行う。」などの文言を入れてはどうか。	企画課	ご指摘のとおり表現を修正します。
5	36		出前講座として、子ども会やスポーツ団体等への指導者への研修や学校へ出向いての研修が実施できないか。	生涯学習課	子ども会やスポーツ団体等の社会教育団体は任意団体であるため、その活動は各団体が計画・実施されており、その部分について市が関与することはできませんが、指導者への啓発として、出前講座の相談があれば、企画課で実施されている出前講座の情報提供を行い、男女共同参画への理解を深める機会につなげます。
6	37	10 地域防災における男女共同参画の促進	防災に関する講座を実施する際、意思決定過程での男女共同参画についても啓発することを入れてはどうか。	危機管理課	ご意見のとおり、防災分野に関しても意思決定過程での男女共同参画は重要で、とりわけ、災害時の避難所運営にあたっては、女性や子どもに対する配慮や支援をどのように行えばよいか等、平時から共通の認識を持っておく必要があります。例えば、生理用品や更衣室スペース、授乳室の必要性等について配慮することで、多くの人が安心して過ごすことができる環境が維持できることから、本市としても、女性の視点を取り入れた避難所運営の必要性を認識しているところです。 本市においては、これまでから防災出前講座にて、防災と人権に関する講義や避難所運営ゲーム（HUG）等を行うなど、性別、年齢、国籍等それぞれが抱える事情を受講者に考えてもらう機会を提供し、避難所運営の質が向上するよう取組みを進めてきました。今後もなお一層、女性の視点も含めた自主防災組織および避難所の運営が可能となるよう、意思決定の場における男女共同参画の啓発に努めていきたいと考えています。

頁	通し番号	指標名 施策・事業	意見等内容	担当課	回答	
7	37	11	防災活動における男女共同参画の促進	防災に関する講座を実施する際、意思決定過程での男女共同参画についても啓発することを入れてはどうか。	消防総務課	防災活動において、性別に偏りがなく、積極的に女性が参画していけるよう努めています。近年では、自治会等への救命講習会を実施するにあたり、女性消防団員（ひこねサンプラウズ）が講師として行っています。今後もなお一層、女性の視点も含めた防災活動が可能となるよう、意思決定の場における男女共同参画の啓発に努めていきたいと考えております。
8	38		基本施策③のリード文について 「往々にして幼少期から形成されてきており、男性にも女性にも存在しています」 ・その原因は家庭や地域の大人とのかかわりの中で徐々に刷り込まれているものであり、成長とともに形成されるものではない。この表現では学校教育の中で形成されていくような誤解が生じないか。 ・また、男性と女性の2つの性ありきになっているのが気になる。	企画課	ご指摘について、誤解が生じない表現となるよう修正を検討します。	
9	38	13	副読本の活用	「副読本の活用」について、今後は具体的な活用方法の把握、効果測定が重要になると思います。児童・生徒、教員を対象とした調査（定性/定量）を適宜実施する、としてはいかがでしょうか。	学校教育課	毎年副読本の活用状況調査を行い、活用学年、教科・単元等に加え、活用方法、学習効果についても、一定把握しております。
10	40	18	女性人材バンクの活用	女性人材バンクを活用するとともに、「女性が市の審議会・委員会に参加することの必要性、ご本人にとってのメリット」「市民が審議会・委員会に参加すること自体の必要性、ご本人にとってのメリット」を市民に継続してPRすることが必要だと思います。	企画課	女性人材バンクについては、登録要件を満たす方に対し、男女共同参画の趣旨とともに引き続きPRしてまいります。また、公募による各種審議会等の委員につきましては、担当課における募集案内時の表現等につきまして考慮していただけるよう働きかけます。
11	42		昨年11月18日付の資料P.44 通し番号29の施策が今回の資料から削除されているようですが、その理由は何でしょうか？関係団体への働きかけも重要と思います。	企画課	前回骨子案では、通し番号29「市の関係団体などにおける意思決定の場への女性の参画の促進」とありますが、事業の詳細としては、市が出資する法人や市の公共施設の管理運営を行う指定管理者等の関係団体などに対して、意思決定の場へ女性の参画を進めるよう働きかける、というものです。今回、通し番号23「企業・団体等に対する啓発活動の充実」と重複する部分が多く、統合しています。「団体等」に「市の関係団体含む」等の文言修正、担当課（企画課）の追加をします。	
12	47	40	女性チャレンジ支援講座の開催	この施策・事業の記載場所が違うようです。ウイズの事業のことならP.57ではないでしょうか。	企画課	事業の性質上、「施策の方向」にて特出して区別できる事業については、ウイズの事業であってもP.57（1）「男女共同参画センターウイズの各種啓発事業の推進」以外の該当箇所に記載しています。通し番号1「男女共同参画セミナーおよびフォーラムの開催」、通し番号25「女性のキャリアアップ支援」はウイズの事業ですが、P.57以外に掲載しています。通し番号40「女性チャレンジ支援講座の開催」については、委員からの意見を踏まえ、どのページに掲載するのかを改めて検討してまいります。

	頁	通し番号	指標名 施策・事業	意見等内容	担当課	回答
13	48			DV防止関連の指標について、加害者からの相談件数は入れられないか。	子育て支援課	DV被害者からの相談を優先していることから、加害者からの相談件数を指標にすることは考えていません。なお、加害者から自身のDVを止めたいというような自発的な相談があった場合は対応しております。
14	58	68	具体的な課題調査・分析	市民意識調査において、若い世代の回答率がその他世代と比べて低くなっており、その実態把握が十分でない状況にあるかと思えます。定期的に応じたような調査を実施する、としてはいかがでしょうか。 ①児童・生徒・学生を対象としたアンケート調査（市内の小中高大の協力のもと実施） ②子育て世代や大学生等を対象としたインタビュー調査、座談会等の実施	企画課	子ども、若者世代への男女共同参画事業の展開には、その世代の実態把握が必須だと考えております。事業の性質上、短期間で実態の変化が見られるのは難しいため、12年間の次期計画期間において、4年ごとの見直しのタイミングで、教育機関等と連携し、対象者の抽出、調査方法を含め検討してまいります。
15				市の男女共同参画計画において、「多様な性（LGBT等）」への対応はどのような位置づけにありますでしょうか。	企画課	「多様な性（LGBT等）」に対する市の取組については、現在、人権政策課にてパートナーシップ制度の導入に向けて取組をすすめているところです。現時点では、未定の部分もありますが、基本目標3の基本施策に関連項目を設定する方向で調整します。